

『笑顔の挨拶を通じて通学路を点検しながら地域の人々との交流』開催記録
令和4（2022）年9月17日（土）
9時-12時 於東寺方小学校と通学路

東寺方小学区エリアミーティング「自然・環境」メンバー呼びかけにより、東寺方小学校校長、副校長、先生方、世話人会会長、こども見守り隊をはじめ学区の19の地域活動の方々、自然環境専門家、近隣中学校長、市教育委員、多摩中央署、交通安全協会、消防団などの皆さまのご協力をいただき、『笑顔の挨拶を通じて通学路を点検しながら地域の人々との交流』イベントが開催されました。



開会の挨拶

当日は、総勢140名規模となり、校庭での2名の専門家解説による自然観察のち、「挨拶で通学路の点検ご協力を」をテーマに、181名の児童が描いた独創的な挨拶絵の中から4点の作品を選び、印刷した缶バッジをつけて通学路をご挨拶しながら歩きました。

自然観察では、「ひのきの森の植物観察」として仙仁径先生（パルテノン学芸

員）による花や草木の学び、「校内に生息する虫たち」について森川正昭先生（日野の自然を守る会）による田んぼにいる昆虫の紹介がなされました。飛んできたシオカラトンボについて「シオカラトンボの性別はオスです」との一言に「初めて知りました」という大人の方々からの多くの声に対し、2年生の児童から「メスはムギワラトンボです！」とのとても頼もしい一幕もありました。



校内に美しく咲くクサギ

自然環境を学び、「ひのき門」より校外に出て、ごみ拾いをしながら通学路でいつも通学をお守りくださっている宝泉院、森沢商店、小林青果店、佐伯輪業店にてご挨拶し、安全や課題に関する数多くのアドバイスやコメントをいただきました。限られた道幅、通行車両に注意する場所など確認をしながら、緩やかな上り坂を歩き、山神社に向かいました。山神社では、特別な行事でしかお目にかかれない白木神輿、山岡鉄舟の書旗などを実際に見せていただき、高温多湿の移動

の中、山神社の皆さまより冷たいお茶を提供いただきました。



山神社の由来と書篋のエピソードについてのお話し

山神社での休憩後、学校に戻る帰路、宿村建設にてご挨拶し、災害時の地元のご協力のお話など聞かせていただき、過去に不審者が出没した場所を確認しつつ小学校体育館に戻りました。

長距離歩いて疲労も出始めている中、世話人会よりスポーツドリンクや塩飴の差し入れがあり、早朝から最終練習に打ち込まれたウィンズ吹奏楽による児童と先生の合同作曲の「ひのきの森」と「上を向いて歩こう」の2曲を聴き、その素晴らしさには会場全体が拍手喝采でした。次いで、多摩動物公園野生生物保全センターの杉田先生より、野鳥の生態について

様々な写真を投影いただきながらのレクチャーがあり、サッカー少年団の児童からは、先生の専門のコウノトリの飛行距離などの質問がなされました。多摩中央署からは特殊詐欺の実態とデジポリスの活用方法の説明がなされました。原島多摩市教育委員と中央大学中村氏による総括、最後に中村ゼミのジェイ君より、地域を大事にする日本の素晴らしさを感じたとの感想を日本語と英語でも話してもらえました。

このたび、大変お忙しい中、多くのご協力をいただきました皆さまに、心より御礼を申し上げます。



大きなスクリーンで野鳥の生態を学ぶ



原島教育委員による「挨拶と地域」